

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年6月24日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ真管

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				トイレが1つしかない為、個別に声をかけてタイミングをずらす様に働きかける。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			指定基準に基づき、職員の配置を行っている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			現在身体障がい者の受け入れをしていないが、必要に応じて手すりの設置等を検討していく。
業務改善	4 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				定期的に会議等を行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者からの意見も共有して改善につなげている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				今年度より掲載を行う。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者による外部評価について依頼を行っている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			積極的に外部の研修にも参加し、その内容を職員全員で共有している。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の方や利用者の方のニーズを取り入れながら計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			学校や外部機関で実施した発達検査の結果を参考にしている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
適切な 支援の 提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			どの曜日を利用してもまんべんなくプログラムに参加できるように予定を組んでいる。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの活動能力に応じて、個別・集団活動が実施できるようにプログラムを立案している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			午前中に前日の振り返りや当日の活動計画について、毎日行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼の際に、送迎時に保護者から相談を受けた内容や連絡事項等を共有している。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援目標に基づいて、日々の支援内容を記録し、個別支援計画の評価、見直しの根拠資料として活用している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。支援者会議を開き、職員全員で話し合って判断している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って活動を設定している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				近日中に開催する予定である。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			年に1回以上は学校側と情報共有の場を設けている。児童の送迎時にもその都度情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在対象者はいないが、必要があれば実施する体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			今後は、就学前には情報共有を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			現在対象者はいないが、必要があれば実施する体制を整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			必要な際には今後連携を行う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		今後障がいのない子どもも参加できるようにイベントを検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○		今後機会があれば参加を検討する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				連絡帳アプリで随時相談にのれる体制を整えており、送迎時にも日々の様子や支援方法の変更等を伝えている。
保護者への説明	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			今後開催する予定である。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に必ず説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				職員の手得不得手を考えて、相談内容に相応しい職員が対応を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				苦情受付担当と苦情解決責任者を配置し、迅速に対応できるようにしている。

切責 任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民を招待するイベントを実施できる体制を整えるのは難しいが、兄弟や家族が参加できる行事は行っている。	
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に職員、利用者共に避難訓練を実施し、災害時の動きを確認している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部で開催される研修に参加するほか、法人全体で虐待防止研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束適正化マニュアルを作成し、必要性を認める子どもは計画書に記載して保護者の同意を得ている。	今後対象の児童がいる場合は社内全体で身体拘束が必要かどうか判断していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			都度、保護者からアレルギーの状況を聞き取り、担当者会議で全職員に共有している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			社内で行きたヒヤリハット・事故報告はその部度職員間で共有し、改善に向けた取り組みを全社的に行っている。		